

# 田園景観と希少生物が育む 豊かな農村環境づくり

—生物多様性保全機能—

## よれし 和石地区田園の景観を守る会



和石地区の田園景観

本地区は宮崎市の西部に位置し、地区の周囲は国有林で囲まれており、山間の谷に開かれた迫田の形態で田畑約28haを耕作している。周りを山林に囲まれている事で、外来種等の進入が少なく、希少な植物も数多く生息できる環境にある。

この里山の農村環境を保全・継承するためにも、農地維持活動はもちろんのこと、共同活動で希少生物の保全などにも積極的に取り組むことで、自然豊かな景観が守られている。



宮崎県宮崎市

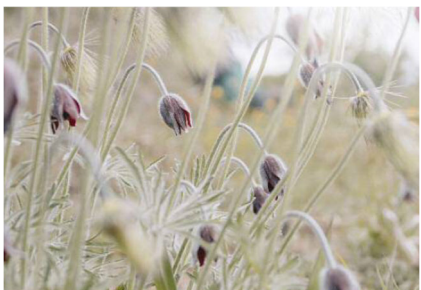


迫田の風景

### 〔生物多様性保全、景観の保全〕

山々がすぐそばまで迫っている田んぼは、迫田と呼ばれ、放っておくと、すぐそばの斜面に木々が生え、田んぼに日が当たらなくなるため、斜面の草刈りを行っている。この草刈り後の斜面に、オキナグサ（絶滅危惧Ⅱ類）やゴマシオホシクサ（絶滅危惧ⅠB類）などの希少植物が自生しており、田んぼの維持活動によって、希少植物との共生が実現している。また、希少植物との共生によって、地域住民に希少植物の保全に対する意識が芽生え、田んぼや希少植物を含めた景観の保全活動に結びついている。

里山保全活動が評価され、本地区は、平成21年度に宮崎県の「野生動植物保護のための重要生息地」に選ばれており、和石地区田園の景観を守る会は、平成30年度に環境省の「地域環境保全功労者表彰」を受けている。



希少植物のオキナグサ  
春になると赤紫色の花  
を咲かせる

### 〔地域社会の振興〕

「おねっこ祭り」、「里山フットパス」、「七草観察会」、「MIYAZAKIダイニングアウト」など数多くのイベント開催を通して、地区全体で交流活動を展開している。



希少植物のゴマシオホシクサ



おねっこ祭り



里山フットパス